

N F C

NFC CALENDAR

大ホール(2階)

現代フランス映画の肖像 2

—ユニフランス寄贈フィルム・コレクションより

*Une petite découverte du cinéma français d'aujourd'hui 2
dans la donation de l'Unifrance*

主催: 東京国立近代美術館フィルムセンター

特別協力: ユニフランス・フィルムズ

2012年2月7日㈬—3月31日㈯

電力事情など今後の状況により急遽スケジュールが変更される可能性もございます。最新の情報は、当館ホームページ又はハローダイヤルにてご確認願います。

2~3月の休館日:

月曜日

大ホール

開映後の入場はできません。

定員=大ホール310名(各回入替制)

料金=一般500円／高校・大学生・シニア300円／小・中学生100円／

障害者(付添者は原則1名まで)、キャンバスマンバーズは無料

券券=2階受付

・観覧券は当日・当該回のみ有効です。

・発券・購入は開映の30分前から行い、定員に達し次第締め切ります。

・学生・シニア(65歳以上)、障害者、キャンバスマンバーズの方は、証明できるものをご提示ください。

・発券は各回1名につき1枚のみです。

東京国立近代美術館フィルムセンター

National Film Center
The National Museum of Modern Art, Tokyo



現代フランス映画の肖像 2

—ユニフランス寄贈フィルム・コレクションより

*Une petite découverte du cinéma français d'aujourd'hui 2
dans la donation de l'Unifrance*



2012

2-3

NFCカレンダー
2012年2~3月号

大ホール 上映作品

現代フランス映画の肖像 2
—ユーフランス寄贈フィルム・コレクションより
*Une petite découverte du cinéma français d'aujourd'hui 2
dans la donation de l'Unifrance*

これまで数々の名作とともに日本の映画ファンたちを魅了してきたフランス映画。現在でも、アメリカ映画に次ぎ最も観しまれている外国映画の一つですが、それでも日本に配給されるのは、全体のほんの一部しかありません。

近年、フランス映画の国外普及を促進する機関ユニフランスから、1993年以降毎年行われている同機関主催の「フランス映画祭」で上映された日本未配給の作品が、フィルムセンターに多数寄贈されました。昨年に引き続き本企画では、その中から1993～2005年製作の60作品(短篇13本、長編47本)を47プログラムで紹介し、現代フランス映画のさらなる魅力を発見します。

■監督・演出 原作 脚本・脚色 撮影
美術 音楽 出演
記載した上映分数は、当日のものと多少異なることがあります。
上映作品にはすべて日本語字幕が付いています。

I 2/7(木)7:00pm 3/4(日)1:00pm

我が名はヴィクトール

(102分・35mm・カラー)

JE M'APPELLE VICTOR

11歳の少年(C・ビュセラ)は、7歳上の少女(B・ペモル)の気を惹くために、終戦以来隠遁生活を送っている遠い親戚の話に基づいた生まれ変わりの話を捏造する。早熟な恋と時を越えた愛の物語。ジャンヌ・モロー・ミシェリーヌ・ブレールなど往年の名女優たちが好演している。

'93@[◎]ギィ・ジャック@エマニュエル・リスト@ジエローム・ロペール@ジャン・ラバ@ジャン=クロード・ヴァニエ@ジャンヌ・モロー・ミシェリーヌ・ブレール・ドミニク・ビンソン・ジュリアン・ギオマール・クローディオ・ビュセラ・ブリジット・ペモル

2 2/7(木)3:00pm 3/10(土)3:30pm

ルイ、少年王(162分・35mm・カラー)

LOUIS, ENFANT ROI

演劇界で俳優・演出家として活躍するロジェ・ブランションの映画監督デビュー作。フロンドの乱(1648-1653年)で混迷する時代を背景に、ルイ14世の波乱に満ちた幼少期が描かれている。ルイ14世の母親役を演じたカルメン・マウラは、ペドロ・アルモドバル監督の『ボルベール(帰郷)』(2006年)などでも好演している。

'93@[◎]ロジェ・ブランション@ジエラール・シモン@エジオ・フリジェリオ@ジャン=ピエール・フェイ@カルメン・マウラ・マキシム・マンション・パオロ・グラジオジ・ジョスラン・キブラン・エルヴェ・ブリオ・ブリジット・カティロン・イリナ・ダル・セルジュー・デュピール・イザベル・ジュリナス

3 2/8(木)3:00pm 3/6(火)7:00pm

ブルー・ヘルメット(102分・35mm・カラー)

CASQUE BLEU

確かな演技力で評価の高いジエラール・ジュニョーが監督・主演し、世界と家庭の平和を読いたコメディ映画。ブドウ農場の経営者パトリックは、夫婦で地中海の島へヴァカンスに出かける。だが、そこでは内戦が勃発し、もはや行楽どころではなくなっていた。

'93@[◎]ジエラール・ジュニョー@クリスチャン・ビガルスキ@ジエラール・ド・パティスタ@ジャン=ルイ・バヴェダ@イヴ・ド・ビュジャド@ヴィクトリア・アブリル・ヴァレリー・ルメルシエ・ジャン=ピエール・カッセル・ミシェリーヌ・ブレール・クロード・ビエブリエ・ジャン=ピエール・ブルテ、ロラン・マルシジョ、ユベール・サン・マカリ

4 2/8(木)7:00pm 3/10(土)1:00pm

サンマルタン運河(21分・35mm・カラー)

IL SUFFIRAIT D'UN PONT

パリのサンマルタン運河を背景に、4組の男女の姿を捉えた作品。監督はヴィム・ヴェンダースの『ベルリン・天使の詩』(1987年)で天使役を好演したソルヴェイグ・ドマルタン。

'97@[◎]ソルヴェイグ・ドマルタン@セバスチャン・レンエ@アニエス・ゴゲール・ジエラール・ルメルシエ@モンセラ・カサノヴァ@ルイス・レゴ・ジョルジ・クレス・カトリーヌ・フロ・フィリップ・クレヴェン・シルヴィ・シニユス・ロマーズ・ボーランジエ・ケン・イッシュラン・ローラン・ブティガン・エリ・メティロス

ジュリエットの年(86分・35mm・カラー)

L'ANNÉE JULIETTE

麻酔医のカミュー(F・ルキニ)は、一時的な恋のお相手だったクレマンティース(V・ストロ)から真剣な交際を迫られ、その場の口実として、架空の女性との恋愛話をちぎり上げる。だが、その嘘か彼の心のなかで次第に真実味を帯びてくる…。フランス・トリフォーの作風を想起させる恋愛コメディ。

'94@[◎]フィリップ・ル・ゲイ@ジャン=ルイ・リシャール@ピエール・ノヴィゴン@ジミー・ヴァンステンキスト@ファブリス・ルキニ・フィリーナ・ルロワ=ボーリュー・ヴァレリー・ストロ・マリーヌ・デルタルム・ディエイエ・フラン

5 2/9(木)3:00pm 3/11(土)4:00pm

コナン大尉(132分・35mm・カラー)

CAPITaine CONAN

『田舎の日曜日』(1983年)などで知られるタヴェルニエが手がけた戦争映画。第一次世界大戦中の戦友二人が、戦後、法廷で裁く者/裁かれる者として再会する。本作により、監督はセザール賞最優秀監督賞を、コナン役のフィリップ・トレトンはセザール賞最優秀男優賞を受賞した。

'96@[◎]ベルトラン・タヴェルニエ@ロジェ・ヴェルセル@ジャン・コスマス@アラン・ショカール@ギィ・クロード・フランソワ@オスフルズド・ダンドレア@フィリップ・トレトン・サミュエル・ル・ビアン・ペルナール・ル・コック・カトリーヌ・リッシュ・フランソワ・ペルレアン・グロード・リッシュ

6 2/9(木)7:00pm 3/6(木)3:00pm

最高のお仕事!(105分・35mm・カラー)

LE PLUS BEAU MÉTIER DU MONDE

ジエラール・ドバルデュー主演の学園コメディ。片田舎の高校で平穏な教師生活を送っていたローランは離婚により、治安の悪い郊外の中学校に移ることとなる。フランスの若者たちをめぐる問題を真っ向から取り上げた作品。

'96@[◎]ジエラール・ロジエ@ジャン=イヴ・ル・ムネ@クリスチャン・マルティ@クラディミル・コスマ@ジエラール・ドバルデュー・ミシェル・ラロック・アンド・アミドウ・ティッキー・オルガド・ギィ・マルシャン・フィリップ・コルサン・ダニエル・ブレヴォスト

7 2/10(金)3:00pm 3/17(金)4:00pm

ねじれた愛(100分・35mm・カラー)

L'HOMME EST UNE FEMME COMME LES AUTRES

敏度なユダヤ教徒のロザリー(E・ジルベルシュタイン)が恋に落ちたのは、家族にもユダヤの教えにも背を向けてしまった同性愛者のシモン(A・ドゥ・コース)だった。美しい音色に彩られたラブコメディ『シンドラーのリスト』(1993年)の音楽で知られるユダヤ系の名クリニネット奏者ジオラ・ファイドマンによるソロ演奏も堪能できる。

'98@[◎]ジャン=ジヤック・シリベルマン@ジョエル・ヴァン・エッファンテール@ジル・トーラン@ビエール・アーム@ヴァレリー・グラル@アントワネット・ドゥ・コース・エルザ・ジルベルシュタイン・カド・エルマレ・ミシェル・オーモン・モーリス・ベニュー・ジュディス・マグレ

8 2/10(金)7:00pm 3/11(土)1:00pm

死人に耳あり(17分・35mm・カラー)

LES MORTS ONT DES OREILLES

難聴の殺し屋レオは、いかがわしい司祭から依頼を受ける。だが、彼は打合せで一瞬だけ補聴器が外れ、一部の情報を聞き逃してしまった。国内外で紹介され、好評を博した短篇映画。

'93@[◎]ビエール・フランソワ・ルブラン@オリヴィエ・ティエボ@ローリック・アムラン@セドリック・シモノ@フィリップ・テシエ・ヴァンサン・テシエ@エミリアン・テシエ・ロザン・フルニエ

ルール違反(95分・35mm・カラー)

HORS JEU

ロシ・デ・バルマやアリエル・ドンバールなどの演技派俳優が出演するコメディ映画。売れないので俳優アンジュ(P・アンブロジーニ)は、折角つかみかけたチャンスも緊張のあまり逃してしまう。恋人(R・デ・バルマ)や友人たちの期待を裏切りたくない彼は、ある突飛な行動に出、大騒動を引き起す。

'90@[◎]カリム・ドリディ@パトリック・ブロシ@ピエール・フランソワ・ランボッシュ@ロエ@フィリップ・アンブロジーニ・ロシ・デ・バルマ・パトリック・ブリュエル・クロディルド・クロ・アリエル・ドンバール・ミュウ・ミュウ・ミシェル・ガラブリュ

9 2/14(木)3:00pm 3/7(木)7:00pm

カジモド(101分・35mm・カラー)

QUASIMODO D'EL PARIS

ヴィクトル・ユーゴーの名作「ノートルダムの鐘」を、パトリック・ティムシットが大胆に脚色、映画化した作品。舞台を現代社会に移し、醜い姿のせいで周囲から卑しめられる主人公を監督自身が演じている。コンテンポラリー・ダンサーのプランカ・リーによる振付も見所となっています。

'98@[◎]パトリック・ティムシット@ヴィクトル・ユーゴー@ジャン=フランソワ・アラン・ラフィ・シャール@ヴァン・デン・ツォ・マーラー@カルロス・コンティ@ローラン・ブティジラル@リシャール・ペリー・ヴァンサン・エルバース・マニーニ・ティエリー・ドミニク・ビノン・パトリック・ブラウザ・アクセル・アバディ・ディエイエ・フラン

10 2/14(木)6:30pm 3/8(木)3:00pm

幸せな日々(148分・35mm・カラー)

NOS VIES HEUREUSES

仲の良い6人の男女がそれぞれ悩みと向き合いながら、新たな人生を踏み出そうとする。移民問題なども絡めつつ、若者たちの友情や恋愛を描いた青春群像劇。短篇映画で国際的に高い評価を得ていたジャン・ミヨ監督の長篇デビュー作。

'98@[◎]ジャン・ミヨ@エリック・ヴェニアル@リュック・バジエス@ヴァレリー・ペルマン@アリー・アルフォー@マリー・ペアン・サミ・ブジア・セシル・リシャール・ジャン=ミシェル・ボルタル・カミーユ・ジャビー・エリック・ボニット・サラ・グラバン・オリヴィエ・ビィ・アラン・ペジェル・ファニー・コッタンソン

II 2/11(土)1:00pm 3/8(木)7:00pm

愛しのシビル(111分・35mm・カラー)

PETITE CHÉRIE

お伽噺のような恋を夢見るシビル(C・デボニエール)は、30歳になつても親元を離れず、冴えない生活を送っている。そんな彼女が好青年ヴィクトール(J・ザッカイ)と出会い、現実の恋に目覚める。美術を担当するのは、日本でも活躍する建築家ローラン・ドゥロー。

'98@[◎]アンヌ・ヴィランセック@エリザベス・パリエール・マルク@ビエール・ミロン@ローラン・ドゥロー@ティエリー・ガルシア@コリヌ・テボニエール・ジョナサン・ザッカイ・ローラン・フェギリエ・パトリック・ブレジアン・サラ・アクセル・フィリッピ・アンブロジーニ

12 2/11(土)4:00pm 3/7(木)3:00pm

ギャルソンヌ(106分・35mm・カラー)

LE DERRIÈRE

女優ヴァレリー・ルメルシエが自身で脚本し、監督・主演した作品。自分の父親が同性愛者だと知った少女は、少年の格好をして、父のいるゲイの世界へ足を踏み入れてゆく。音楽を手がけたグレゴリー・チャルキンスキイは、1980年代に流行したフレンチ・チク・グループ「ミカド」の人。

'99@[◎]ヴァレリー・ルメルシエ@オード・ルメルシエ@パトリック・ブロシ@ジヤック・ルクセル@グレゴリー・チャルキンスキイ@クロード・リッシュ・デュードネ・マルト・ケレール・パトリック・カタリフォ・ディエイエ・ブランガルト・フランク・ドゥ・ラ・ペルソ・アミラ・カザール

13 2/12(日)1:00pm 3/9(金)7:00pm

スカッッシュ(29分・35mm・カラー)

SQUASH

同じ職場で働く上司と部下がスカッッシュをする。男同事の激しい闘いの末、彼らは日頃のわだかまりを解消してゆく。クレルモン=フェラン国際短篇映画祭で観客賞と最優秀監督賞を受賞。

2002@リオネル・バイユー@ティエリー・アシャン@ドゥニ・ペノ@エリック・サヴァン・マルコム・コンラット

父の跡をたどって(88分・35mm・カラー)
JE RÉGLE MON PAS SUR LE PAS DE MON PÈRE
母親の死に際に父の存在を知らされた青年は、小さな詐欺で生計を立てる男と、一風変わった親子関係を築いてゆく。主演のギヨーム・カネは、ダニー・ボイル監督の『ザ・ビーチ』などに出演し、ハリウッドでも活躍しており、近年は監督としても注目を集めている。

99@レミ・ウォーターハウス@エリック・ヴィコ@パトリック・ブロシエ@アーネス・ポネット@マルク・ペアッコ@ジャン・ヤンセン、ギヨーム・カネ、ローラン・コート、イブ・レニエ、フィリップ・ローヴンバウ、ジャン=クロード・デュラン、ジャン=クロード・コティヤール

14 2/12(日)4:00pm 3/13(火)3:00pm

とびだした女(118分・35mm・カラー)
UNE FEMME D'EXTRÉIEUR

家庭第一の看護婦フランソワーズ(A・ジャウイ)は、15年連れ添った夫に突如裏切られ離婚する。仕事も子どもも家もある彼女は、そのまま堅実に生きてゆけそうに見えたが、まもなくして奔放な夜遊び生活へと逃避してゆく。モーリス・ピアラやカサヴェテスを想起させる作品として注目された。

99@クリストフ・ブラン@ローベル・ボボ@バスカル・ブセ@シミー・ヴァンステーンキスト@マーティン・ハイラー@アニエス・ジャウイ、セルジュ・アリアン、ペルナディット・ランペール、アラン・ポルラ、カミーユ・クリストゥ、マリー・リシャール、マイテ・マイエ

15 2/15(木)3:00pm 3/13(火)7:00pm

カウントダウン(11分・35mm・カラー)
LA VIE À REBOURS

田舎に住む二人兄弟の青春を描いた作品。監督のガエル・モレルは、アンドレ・テシネ監督の『野性の草』(1994年)や『Loin』(2001年)に出演し、俳優としても活躍している。

94@ガエル・モレル@ジャンヌ・ラボワリー@ラジボン@ステファーヌ・リドー、ポール・モレル、オレリアン・モレル

ふたりの教師(95分・35mm・カラー)
LE PROF

作家アレクサンドル・ジャルダンの映画監督デビュー作。幼馴染のアレクサンドル(J-H・アングランド)とイボリット(Y・タル)はともに熱血教師だが、教育に対して正反対の考え方を持っている。その二人が同じ女性に惹かれて、三角関係へともれ込む。彼らの恋の行方を中心に描きながら、教育現場における問題などをスマートに盛り込んでいる。

2000@アレクサンドル・ジャルダン@マニュエル・テラン@ジャン=ピエール・バズロ@ジャン=クロード・ブティ@ジャン=ユゴー・アングラード、イヴァン・アタリ、エレヌ・ド・フュロル、オアット・ロール、ジャン=マリ・ウイシング

16 2/15(木)7:00pm 3/9(金)3:00pm

何も言わずに(10分・35mm・カラー)
RIEN DIRE

俳優ヴァンサン・ペレーズが監督したカンヌ国際映画祭正式出品作。親友にその母親の死を伝えなくてはならなくなつた女性の苦い境遇が描かれる。

99@ヴァンサン・ペレーズ@カリース・シラ@ステファーヌ・フォンテーヌ@ジャン=ポール・ペルナール@ヴァレリア・ブリュニー=テスキ

力オスの中で(96分・35mm・カラー)
LA CONFUSION DES GENRES

優柔不断な弁護士アランは、大して愛してもいい女弁護士と結婚し、若い青年とは同様、そして服役しているクライアントとも関係を持ち、さらにはその婚約者の疑惑にも屈してしまう。そんな彼がとうとうある決断を迫られる。主演のバスカル・グレゴリーは、エリック・ロメール監督作品などに出演し高く評価されているが、本作では喜劇役者としての才能も発揮している。

2000@イラン・デュラン、コーエン@ジャンヌ・ラボワリー@フランソワーズ・デュペルチュイ@ジェイ=シェイ・ジョアソンソン@バスカル・グレゴリー、ジュリー・ゲイエ、ナタリー・リシャール、アラン・バシュング、ヴァンサン・マルティネス、シリル・トゥツアン、ビュル・オジエ、ネリー・ボルジョー、ヴァレリー・ストロ

17 2/16(木)3:00pm 3/14(火)7:00pm

天国で殺しましょう(96分・35mm・カラー)
UN CRIME AU PARADIS

巨匠監督ジャック・ベッケルの息子ジャンが、1999年の『クリクリのいた夏』で起用したコメディ俳優ジャック・ヴィルレと再び仕事をともにすべく撮った作品。サシャ・ギトリ監督の『我慢ならない女』(1980年)を基にしており、ヴィルレがミシェル・シモンに代わり、妻殺しを企てる夫ジョジョを演じている。

2000@ジャン・ベッケル@サシャ・ギトリ@セバスチャン・ジャブリゾ@ジャン=マリ・ドゥルジー@テレーズ・リボー@ビエール・バシェ@ジャック・ヴィルレ、ジョジアース・バラスコ、アンドレ・デュソリエ、シュザンヌ・フロン、ジャック・ダクミン、クリスティン・ドゥラロッシュ、ドミニク・ラヴァナン、ダニエル・ブレヴォスト

22 2/18(土)4:00pm 3/14(火)3:00pm

ぼくのパパは、きみのパパ

(119分・35mm・カラー)

LES FEMMES... OU LES ENFANTS D'ABORD...
カンヌ国際映画祭審査員賞受賞作『二ノの空』(1996年)のマニュエル・ポワリエ監督と俳優セルジ・ロベスが、再びコンビを組んだ作品。倦怠感を覚えながらも平凡な生活に甘んじる妻子持ちのトム(S・ロベス)はある日突然、昔の恋人との間に娘がいたことを知る。現実に戸惑いながらも、生きる喜びを見出していく人々の心温まる物語。

2002@マニュエル・ポワリエ@クリストフ・ポーカルヌ@ロラン・マビュ@セルジ・ロベス、マリリン・カント、シルヴィ・デステュ、サシャ・ブルト、ジャン=ジャック・ヴァニエ、セルジュ・リップキン、エリザベス・コンムラン、カトリーヌ・リオ

23 2/21(水)3:00pm 3/16(金)7:00pm

ミドルエイジ協奏曲

(106分・35mm・カラー)

LE COEUR DES HOMMES

平穏な日々を送ってきた中年男性たちの前に、数々の思わぬ問題が持ち上がる。映画雑誌Studioの創刊者でもある映画ジャーナリスト、マルク・エスピジトの長篇監督デビュー作。監督は、ワンシーン・ワンカットのシーンとなるべく多くし、俳優たちの演技をじっくり見せるよう努めたという。

2002@マルク・エスピジト@バスカル・コペール@ジャン=ジャック・ジエルノル@ペトリス・ティエリ@ベルナール・カンパン、ジエラル・グルモン、ジャン=ピエール・ダルッサン、マルク・ラヴォワース、リュドミラ・ミカエル、ファビアース・バペ、ゾエ・フェリックス、フロランス・トマサン、カトリーヌ・ヴィルクナン、アンナ・ゲイラー

24 2/19(日)4:00pm 3/15(金)3:00pm

男と女 アナザー・ストーリー

(133分・35mm・カラー)

AND NOW... LADIES AND GENTLEMEN

フレンチ・ポップス界の歌姫パトリシア・カースが出演するクロード・ルルーシュ監督の作品。宝石泥棒の男(J・アイアンズ)とジャズシンガーの女(P・カース)が繰り広げるロマンチックなラブ・ストーリー。

2002@クロード・ルルーシュ@ピエール=ウリアヌ・グレン@ジョン・ジル・ジル@ミシェル・ルグラン@ジェレミー・アイアンズ、パトリシア・カース、ティエリー・レリミット、アレッサンドラ・マルティネス、ジャン=マリ・ビガール、ティッキー・オルガド、イヴァン・アタル、アミドゥ

25 2/19(日)1:00pm 3/16(金)3:00pm

見えない嘘(129分・35mm・カラー)

L'ADVERSAIRE

両親も妻子も殺してしまった男(D・オートウイユ)は自殺も躊躇されず、逮捕される。調査が進むにつれ、彼にまつわる驚愕の真実が明かされてゆく。フランスのベストセラー作家エマニュエル・カレールが実話に基づき書いたサイコ・サスペンス小説「嘘をついた男」を、女優ニコール・ガルシアが映画化した。

2002@ニコール・ガルシア@エマニュエル・カレール@ジャン・フィエシ、フレデリック・ペリエ=ガルシア@ジャン=マリ・ファーブル@ヴェロニク・バルネク@アンジェロ・バダマント@タニエル・オートウイユ、ジエラルデイン・ペラス、フランソワ・クリュゼ、エマニュエル・ドゥボス、アリス・フォーヴェ、マルタン・ジョペール、ミシェル・カサー・ニユ、ジョゼフィヌ・ドゥレーズ

26 2/21(水)7:00pm 3/24(土)1:00pm

クロエの棲む夢(106分・35mm・カラー)

LES DIABLES

少年ショゼフと自閉症の姉クロエは、幼少期に親から捨てられて以来、安住の地を求めて施設を転々とする。ストリート・チルドレンの問題や子どもの自閉症の問題に目を向けた作品。

2002@クリストフ・リュジア@オリヴィエ・ローレル@エリック・ギヤール@ローラン・ドゥロー@オフジ・ゲルジュー@ヴァンサン・ロティエ、アーネル・エーネル、オリエア・ブティ、ジャック・ボナフ、ロシュディ・ラバティ、ドミニク・レイモン、フレデリック・ピエロ、フランソワ・ネグレ

27 2/22(木)3:00pm 3/20(火)~4:00pm

僕のアイドル(112分・35mm・カラー) MON IDOLE

ショービジネスの暗い影を描いた。俳優ギヨーム・カネの監督デビュー作。テレビ界での成功を夢見て日々ADの仕事に精を出すバストイアン(G・カネ)は、憧れのプロデューサー、ブルースタル(F・ペルアン)に新企画を提案し、確かな感触を掴んだかに見えたが…。同監督は第2作『Ne le dit à personne』(2005年)で最年少にしてセザール賞最優秀監督賞を受賞している。

2002年◎④ギヨーム・カネ脚④フィリップ・ルフェーヴル監クリストフ・オファンステイン⑥アラン・ヴェイシエ⑥サンクレール⑥フランソワ・ペルアン、ダイアン・クルーガー、クロード・クロワ、ダニエル・ブレヴィスト、ジャン=ポール・ルーヴ、ジャクリーン・ジェアンヌフ、アンドレ・ダマン

28 2/22(木)7:00pm 3/24(土)4:00pm

シュシュ、バリデビュー(105分・35mm・カラー) CHOUCHOU

アルジェリア出身の気鋭監督メルザック・アルアーシュによる痛快コメディ。女装癖のあるゲイ青年のシュシュ(G・エルマレ)はアルジェリアからフランスに密入国し、パリにたどり着く。精神分析学者ミロヴァヴィッチ(C・プロ)と出会いことで自己を開拓してゆく彼の、みずみずしい恋の物語。

2002年◎④メルザック・アルアーシュ⑥ガド・エルマレ⑥ローラン・マッシュエル⑥シルヴィ・アルドン⑥ジエルミナル・トゥナス、ジル・ティネイユ⑥アラン・シャバ、クロード・ブ拉斯、ロシュディ・ゼム、カトリーヌ・フロ、ジュリアン・クールベイ、アリー・エルマレ、ヤシーヌ・メスバ、ミシェル・ニース・ブレール、ジャック・スレイズ

29 2/23(木)3:00pm 3/21(木)7:00pm

あなたを待つ人生(107分・35mm・カラー) UNE VIE À T'ATTENDRE

パリで友人たちとレストランを切り盛りするアレックス(P・ブリュエル)は、恋入クレール(G・ペラス)との結婚も秒読み状態であるが、12年前にブラジルへ行ってしまった初恋相手のジャンヌ(N・バイ)と再会し、激しく心を揺さぶられる。映画ジャーナリスト、ティエリー・クリファの長編監督デビュー作。

2003年◎④ティエリー・クリファ⑥クリストファー・トンブソン⑥ビエール・アーム⑥リーズ・マルザローリ⑥ダヴィッド・モロー⑥ナタリー・パイ、パトリック・ブリュエル、ジエラルディン・ペラス、ヌーク・グラント、ダニエル・ダリュー、ミカエル・コーエン、フランソワ・ペルアン

30 2/23(木)7:00pm 3/23(金)3:00pm

夢の中に君がいる(108分・35mm・カラー) LAISSE TES MAINS SUR MES HANCHES

舞台女優としても母親としても満たされた生活を送っていたオディエ(C・ロビー)だが、一人娘が家を出たことで、急に時間をもてあますことになる。そんな彼女の人生が、3人の旅芸人との出会いを通して大きく変わってゆく。フランスで高く評価されている日本人キャメラマン・永田鉄男の巧みなタッチにより、成熟した女性の輝きが美しく捉えられている。

2003年◎④シャンタル・ロビー⑥永田鉄男⑥アリーヌ・ボネット⑥フレデリック・タルゴルン⑥ロシ・ア・バルマ、クロード・ペロン、アラン・シャバ、ジャン=ユゴー・アングラン、エレーヌ・デュック、ジャン=ビエール・マルタン

31 2/24(金)3:00pm 3/25(土)1:00pm

優しい心(11分・35mm・カラー) LE COEUR SUR LA MAIN

海辺に移り住むことを決意した夫婦が、今住んでいる家を売ることにする。人気の女性コメディアン、マリ・アンヌ・シャゼルの監督デビュー作。

2002年◎④マリ・アンヌ・シャゼル⑥パスカル・コベール⑥ドミニク・トレイベル⑥クリスチヤン・ファーブル⑥フランソワ・モレル、イザベル・カンドリエ

加速する肉体(96分・35mm・カラー) LES CORPS IMPATIENTS

若いカップルのシャルロット(L・スマット)とボール(N・デュヴォシェル)は互いに深く愛し合っているが、シャルロットが肺癌に陥まれてゆくを見て、ボールは従姉妹ニノン(M・ドゥナルノー)へと逃避してゆく。監督は、短篇『インタビュー』(1998年)でカンヌ国際映画祭パルム・ドールを受賞したグザヴィエ・ジャノリ。

2003年◎④グザヴィエ・ジャノリ⑥クリスティアン・ドゥ・モンテッラ⑥ヨリック・ル・ソーヌ⑥オリヴィエ・ラド⑥アレクサンドル・デブラン⑥ローラ・スマット、ニコラ・デュヴォシェル、マリー・ドゥナルノー、カトリーヌ・サルヴィア、モーリス・アントニ

32 2/24(金)7:00pm 3/20(火)~1:00pm

お先にどうぞ(110分・35mm・カラー) APRÈS VOUS...

ダニエル・オートウイユとジョゼ・ガルシアの見事な掛け合いが見所の、軽妙にして重厚なコメディ映画。パリでレストランを経営するアントワーヌ(D・オートウイユ)は、自殺しようとした男(J・ガルシア)を立ち直らせるべく、せっせと世話をやぐ…。喜劇ものを得意とするビエール・サルヴァドール監督の作品。

2003年◎④ビエール・サルヴァドール⑥ダニエル・テブルー⑥ブノワ・グラファン⑥ジル・アンリ⑥イヴ・フルニエ⑥カミーユ・バスバース⑥ダニエル・オートウイユ、ジョゼ・ガルシア、サンドリース・キベルラン、マリリン・カント、ミシェル・モレティ、ギャランス・クラヴェル

33 2/25(土)1:00pm 3/22(木)7:00pm

ワーク・ハード、プレイ・ハード (99分・35mm・カラー)

VIOLENCE DES ÉCHANGES EN MILIEU TEMPÉRÉ
企業コンサルタントとして田舎からパリへ出てきた青年は、社長に腕を認められ、ある工場のリストラ作業を命じられる。正義感の強い主人公の視点から、フランスの差別問題や雇用問題が描かれている。主演のジェレミー・レニエは、『イゴールの約束』(1996年)『ある子供』(2006年)などのダルデンヌ兄弟作品で好演している。

2003年◎④ジャン=マルク・ムトゥ⑥オリヴィエ・ゴルヌ⑥クロード・ガリエ⑥アンドレ・フォンヌニ⑥シルヴァン・ヴァノー⑥ジェレミー・レニエ、ローラン・リュカ、シリリア・マルキ、オリヴィエ・ペリエ、サミール・グスマ、マルティーヌ・シュヴァリエ、ビエール・カシニャール、ノザ・クアドラ、ダニ

34 2/28(木)3:00pm 3/23(金)7:00pm

マリアージュ!(101分・35mm・カラー)

MARIAGES !

25歳の男女がめでたく結婚式を迎える。だが、幸福はずのその場で、35歳の男女が夫婦生活の危機を迎えようとし、10年前に破局した45歳の男女が再び顔を合わせることになる。結婚式披露宴を舞台に、結婚とは何かをシニカルに捉えたコメディ映画。

2004年◎④ヴァレリー・ギヤボア⑥ビエール・アイム⑥テレーズ・リボー⑥ファブリス・アブルケ⑥マティルド・セニエ、ジャン・デュジャルダン、ミュウ=ミュウ、ティエイエ・ブザス、リオ、アントワーヌ・デュレリー、クロエ・ランペル

35 2/25(土)4:00pm 3/21(木)3:00pm

屈辱的な条件(21分・35mm・カラー)

LES FOURCHES CAUDINES

将来への希望に燃える青年(C・ヴァディム)は、大企業の入社面接試験に勇み足で出向く。だが、彼の面接は思わず展開を迎える。

1999年◎④ミカエル・ドニオ⑥クリストフ・ドゥブレーズ=ボワ⑥ダヴィッド・マルタン⑥フィリップ・ロンビ⑥クリスチャン・ヴァディム、エティエンヌ・ラドバール、ブリジット・テラ、シャルル・ロジェ=ブル、オリヴィエ・エモン

モン・アンジュ(92分・35mm・カラー)

MON ANGE

娼婦のコレット(V・バラディ)は、ひょんなことから孤児院にいる少年を暗黒組織から守らなくてはならない。ジョン・カサヴェテスの『グロリア』(1980年)を彷彿とさせる作品。『橋の上の娘』(1998年)『歓楽通り』(2001年)などパトリス・ルコント作品の脚本家として知られるセルジ・フリードマンの監督デビュー作。

2004年◎④セルジ・フリードマン⑥ヴィルコ・フィラック⑥ビエール=フランソワ・ランボッシュ⑥コリン・タウンズ⑥ヴァネッサ・バラディ、ヴァンサン・ロティエ、エドワード・ノリエガ、クロード・ペロン、エリック・リュフ、トマ・フェルセン

36 2/26(日)4:00pm 3/22(木)3:00pm

ワーズ・イン・ブルー(114分・35mm・カラー)

LES MOTS BLEUS

精神的なトラウマのせいで社会から孤立してしまった母子が、愛し愛されることによって他者に心を開いてゆく。フィルム・ノワールや文芸映画で定評のあったアラン・コルナーが、ドミニク・マイナールの小説『彼らの物語』にほれ込んで映画化した作品。シルヴィ・テスティエやセルジ・ロベスなど演技派俳優たちが好演している。

2004年◎④アラン・コルナー⑥ドミニク・マイナール⑥イヴ・アンジエ⑥ソランジュ・ゼイトン⑥クリストフ・シルヴィ・テスティエ、セルジ・ロベス、カミーユ・ゴーティエ、マリー・ソテューブ、セドリック・シュヴァルム、イザベル・ブティエ=ジャック、ブリューヌ・リシュテル

37 2/26(日)1:00pm 3/30(金)7:00pm

自由の女神(27分・35mm・カラー)

LIBERTÉ CHERIE

街頭でパントマイムをするイスマエル(Z・スアレム)の十八番は「自由の女神像」。だが、彼は像を真似れば真似るほど、彼自身の自由が奪われてゆく…。

1978年◎④ジャン=リック・ガジェ⑥リック・バジェス⑥リディア・デコベール、オロール・ルッセ⑥ジエラル・トリキアン⑥エステル・ラリヴァス、アラン・ペジェル、ジヌディーヌ・スアレム、ダニエル・セッカルティ・トマ・シャプロル、エリック・ボニカット

マリスコス・ビーチ(95分・35mm・カラー)

CRUSTACÉS ET COQUILLAGES

コート・ダジュールの別荘を相続したマルク(G・メリキ)は、初めてそこで妻子とともにひと夏を過ごす。自らの欲望に忠実で、そしてそれぞれの個性に寛容な一家の、明るいヴァンサンかわいいきと綴られている。シリヴィー・ジロンの振付によるラストのダンス・シーンは、北野武の『座頭市』(2003年)からヒントを得たといふ。

2004年◎④オリヴィエ・デュカステル、ジャック・マルティノー⑥マチュー・ボワ⑥デルベッシュ⑥リーズ・ペーテルマン⑥バッテリー⑥ヴァレリア・ブリュニー=テスキ、シリベール・メリキ、ジャン=マルク・バール、ジャック・ボナフェ、エドワール・コラン、ロマン・トレス、サビーナ・セイヴェク

38 2/28(木)7:00pm 3/31(土)1:00pm

りんごと無花果とアーモンド

(35分・35mm・カラー)

LA POMME, LA FIGUE ET L'AMANDE

ブドウ畑で働く移民の男は、偶然出会った女性と、互いにとりとめのない身の上話ををする。二人の何気ない会話のやり取りのなかに、孤独な人々の心が触れ合う瞬間を捉えた作品。

1999年◎④ジョエル・プリス⑥バスクル・ラグリフル⑥アルノー・ロス⑥アトリアム・ムジカ・デ・マドリッド⑥クリスティーヌ・ミリオ、ジヌディーヌ・スアレム

ハウス・ウォーミング!(70分・35mm・カラー)

TRAVAUX

女弁護士シャンタル(C・ブーケ)は仕事は完璧だが、プライベートではだらしなく、人肌恋しさから依頼人の男(J・P・カスター)とも関係を持ってしまう。だが、本気になってしまった彼を鬱陶しく思う彼女は、彼を寄せ付けないために自宅の改装工事を思い立つ。映画関連の各話で絶賛された作品。舞踏家カリーヌ・サボルタが振付けるダンスも見所。

2004年◎④ブリジット・ルーアン⑥エリック・ペナール⑥クリストフ・ボロック⑥ギ・クロード・フランソワ・スティーヴン・ウォーベック⑥キャロル・ブーケ、ジャン=ビエール・カスター⑥ティ・アルド・マッヂオーネ、マルシル・ディ・フォンゾボー、ジゼル・カサドシュ、ディエイエ・フラン、フランソワーズ・クリオン

39 2/29(木)3:00pm 3/29(木)7:00pm

何事も誓うなけれ(100分・35mm・カラー)

IL NE FAUT JURER... DE RIEN!

1830年のパリが舞台の時代コメディ。酒とギャンブル、女遊びにふける放蕪者ヴァロンタン(J・デュジャルダン)は、そりの合わない叔父(G・ジュニヨー)から結婚相手(M・ドゥテイ)を押し付けられる。結婚を破談にしたいヴァロンタンは、彼女のふしだらさを叔父に証明すべく、彼女を誘惑しようと四苦八苦する。

2004年◎④エリック・シヴァニヤン⑥アルフレッド・ド・ミュッセ⑥フィリップ・カボ⑥エドゥアルド・セラ⑥アト・オアン⑥フランソワ・ペイロニエ⑥ジエラル・ジュニョー、ジャン・デュジャルダン、メラニー・ドゥティエ、マリ・フラン・サントン、パトリック・オードクール、アルノー・シュヴリエ、ミシェル・ガルシア

40 2/29(木)7:00pm 3/27(木)3:00pm

優しい女(102分・35mm・カラー)

GENTILLE

精神病院で麻酔医として働くフォンテース(E・ドゥヴォス)は、仕事も恋も順風満帆だが、恋人ミシェル(B・トデスキーニ)のプロポーズになぜか戸惑いを感じてしまう。撮影は、ゴダールやストローブ=ユイレの作品なども手がけた名キャメラマンのクリストフ・ボロックが担当。

2004年◎④ソフィー・フィリエール⑥クリストフ・ボロック⑥アントワーヌ・ブラー⑥エマニエル・ドゥヴォス、ランペール・ウイルソン、ブリュノ・トアスキーニ、マイケル・ランヌール、ビュル・オジエ、ジュリエ=アンヌ・ロス、ニコラ・ブリアンソン、ミシェル・ヴュイエルモス、マガリ・ウォック、ガブリエル・ヴァリエレス、エリック・エルモスニー

41 3/1(木)3:00pm 3/25(日)4:00pm

レミング (130分・35mm・カラー) LEMMING

若い優秀なエンジニアのアラン(L・リュカ)と妻ベネディクト(C・ゲンズブル)は、取引先の会社の社長夫妻を新居に招いたことがきっかけとなって、奇妙な出来事に巻き込まれてゆく。『ハリー、見知らぬ友人』(1999年)でセザール賞4部門を受賞したドミニク・モル監督によるサイコ・サスペンス映画。

2005年@ドミニク・モル@ジル・マルシャン@ジャン=マルク・フーブル@ミシェル・バティレミ@イヴァン・シンクレア・ウティカ@ローラン・リュカ、シャルロット・ゲンズブル、シャーロット・ランブリング、アンドレ・ユソリエ、ジャック・ボナフェ、ミシェル・カサニュ、フロラン・ドゥジル、フェリックス・ゴンザレス

42 3/1(木)7:00pm 3/31(日)4:00pm

描くべきか、愛を交わすべきか

(98分・35mm・カラー)

PEINDRE OU FAIRE L'AMOUR

平穏で楽しい若者後を送ろうと、仲の良い夫婦(S・アゼマ、D・オートゥイユ)が自然豊かな丘の古い家に移り住む。彼らはそこで教養ある若い夫婦との交流を深めるが、その二人には奇妙な性癖があった…。大胆でシュールな物語が、見事な映像美で繰り出されている。

2005年@アルノー・ラリュー、ジャン=マリ・ラリュー@クリストフ・ボカルヌ@ブリジット・ブラッサー@フィリップ・カトリーヌ@サビース・アゼマ、ダニエル・オートゥイユ、アミラ・カザール、セルジ・ロベス、エレーヌ・ドゥ・サン・ペール、サビース・オードゥパン、ロジェ・ミルモン、ジャック・ノロ、マリ=エール・シェス、フロラン・ロフレ=カイユ、チアゴ・テレス

43 3/3(土)1:00pm 3/28(木)7:00pm

ラブ・イズ・イン・ジ・エアー

(105分・35mm・カラー)

MA VIE EN L'AIR

航空会社でパイロットの訓練指導をするヤン(V・エルバズ)だが、自身は極度の飛行機恐怖症で、このために失恋したことさえある。彼は果たして次にめぐり逢う女性のために、この恐怖症を克服できるのか。『エディット・ピアフ 愛の奇跡』(2006年)でアカデミー賞主演女優賞を受賞したマリオン・コティヤール主演のラブコメディ。

2005年@レミ・ブザンソン@アントワーヌ・モノ@マーマル・エク=シェイク@サンクレール@ヴァンサン・エルバズ、マリオン・コティヤール、ジル・ルルーシュ、エルザ・キコワース、エディット・ピアフ、トム・ノーヴァンブル、セシル・カセル

44 3/3(土)4:00pm 3/29(木)3:00pm

マーズ (9分・35mm・カラー) MAAZ

まるで何かに追われているかのように疾走する男マーズ。彼は一体どこへ向かうのか…。クリスチャン・フォルクマンは、本作の次に発表した長篇『ルネッサンス』でアシター国際アニメーション映画祭クリスタル賞を受賞し、アニメーション作家としても認められた。

98年@クリスチャン・フォルクマン@ジャン=ルイ・バディ@ジブリ・ラバビ@マリソフィ・ウイルソン

フランキー (92分・35mm・カラー) FRANKIE

適齢期を過ぎたファッショニ・モデルのフランキー(D・クルーガー)は、とうとう精神的に参ってしまう。入院した彼女は辛い過去と向き合いながら、少しづつ回復してゆく。監督のファビアンヌ・ベルトーが脚本、撮影、美術、衣裳、録音も手がけている。

2005年@ファビアンヌ・ベルトー@ダイアン・クルーガー、ジャニック・グラヴリン、クリスチャン・ヴィッグル、ジェイ・アレクサンダー、プリジット・カティヨン

45 3/4(日)4:00pm 3/30(金)3:00pm

私の名前はヘル (102分・35mm・カラー)

HELL

荒んだ生活を送る少女の劇的な出会いと別れが描かれる。原作となった同名小説は、当時19歳のローリー・ビルが書き上げたもので、フランス本国で大きな話題を呼んだ。主人公ヘルを演じたのは、若手女優として注目されているサラ・フォレステイエ。

2005年@ブリュノ・シッシュ@ローリー・ビル@マリー・スペンサー@アントワーヌ・ブローテ@シリル・オーフォール@サラ・フォレステイエ、クリスティーナ・ミレ、バスクル・アルビロ、ディディエ・サンドル、ヴァレリー・トラジャノフスキ、メイ・アレクサンドロフ、サラ=ロール・エストラニヤ、ルイーズ・モノ、パンジャマン・ベルクール

展示室(7階)

[企画展]

日本の映画ポスター芸術

The Art of Film Posters in Japan

1月7日@-3月31日@ *月曜日は休室

日本の映画ポスターは、製作・配給会社のコントロールのもと、その多くが匿名的に作られてきました。しかし歴史をたどってみれば、その枠に収まらない数々の芸術的野心を見つけることができます。河野鷹恩、野口久光、栗津潔、横尾忠則、和田誠など、さまざまなアーティストが手かけたポスターを通じて、映画とグラフィック・アートとの結節点を探ります。

・詳細は当該チラシをご覧ください。

[常設展] 企画展に併設

NFCコレクションで見る

日本映画の歴史

Nihon Eiga: The History of Japanese Film From the NFC Non-film Collection

映画の渡来した19世紀末から発展を続け、二つの黄金時代を経験した日本映画の豊かな歴史を、長年フィルムセンターが収集してきた多彩なコレクション(ポスター、スチル写真、雑誌、製作資料、業界資料、キャメラなど機械類、映画人の遺品、映像など)によってたどります。日本映画史の新しい学びの場として、小学生から大人まで幅広い世代の方々を対象とする内容になっています。
(Captions in Japanese and English)

開室時間=午前11時-午後6時30分

(入場は午後6時まで)

料金(企画展・常設展共通)=一般200円(100円)/大学生・シニア70円(40円)/高校生以下及び18歳未満・障害者(付添者は原則1名まで)、MOMATバスポートをお持ちの方、キャンバスメンバーズは無料

* ()内は20名以上の団体料金です。

*学生・シニア(65歳以上)、障害者、キャンバスメンバーズの方は、証明できるものをご提示下さい。

*フィルムセンターが主催する上映会をご覧になった方は当日に限り、半券のご提示により団体料金が適用されます。

研究員による常設展ギャラリートーク

毎月第一土曜日12時より(休室の場合は第二土曜日)

2-3月の開催日:2月4日、3月3日

図書室カレンダー

赤字は休室日

2月

月 火 水 木 金 土 日

1 2 3 4

5 6 7 8 9 10 11 12

13 14 15 16 17 18 19

20 21 22 23 24 25 26

27 28 29

3月

月 火 水 木 金 土 日

1 2 3 4

5 6 7 8 9 10 11

12 13 14 15 16 17 18

19 20 21 22 23 24 25

26 27 28 29 30 31

図書室(4階)

開室=火曜日-土曜日(午後0時30分-午後6時30分/入室は午後6時まで) 閉室=休館日および日曜日・祝日



2012
2-3
大ホール

現代フランス映画の肖像 2 —ユニフランス寄贈フィルム・コレクションより Une petite découverte du cinéma français d'aujourd'hui 2 dans la donation de l'Unifrance

■作品によって開映時間が異なりますのでご注意ください。

お知らせ

フランス映画祭2012

Festival du Film Francais au Japon 2012

主催:ユニフランス・フィルムズ
2012年6月21日(木)ー24日(日)
会場:有楽町朝日ホール、TOHOシネマズ日劇

1993年に始まったフランス映画祭は、今年で20周年を迎えます。今年も、有楽町朝日ホール・TOHOシネマズ日劇が会場となります。記念すべき年を迎えたこの祭典を、フランスから来日するスターたちとともにをお楽しみください。

2階受付では、「NFCニュースレター」(隔月刊)を販売しています。これは、フィルムセンターのさまざまな催し物や事業の情報、上映番組の解説、予告等はもちろんのこと、世界のフィルム・アーカイブやシネママークの紹介、映画史研究の先端的成果の発表などを掲載する機関誌です。どうぞご利用下さい。

東京国立近代美術館フィルムセンターは、国際フィルム・アーカイブ連盟(FIAF)の正会員です。FIAFは文化遺産として、また、歴史資料としての映画フィルムを、破壊・散逸から救済し保存しようとする世界の諸機関を結びつけています。



ファイル名: 〒104-0031 東京都中央区京橋3-7-6

▼ 63

東京メトロ銀座線京橋駅下車、出口1から昭和通り方向へ徒歩1分

都営地下鉄浅草線玉町駅下車。出口A4から中央通り方向へ

東京メトロ有楽町線銀座一丁目駅下車、出口

JR東海道下車、八重洲南口より徒歩10分

人體工學研究方法：從理論到實務

お問い合わせ: ハローダイヤル 03-5771-1111

NFCタグ一覧ページ：
<http://www.memomat-go.jp/>

NFC携帯電話本二つページ：

